

はしかわ市長の **だいすき!くさつ**



新しい
年度を
迎えて

今年の春は天候に恵まれ、市内の桜は見事に咲き誇りました。小・中学校やこども園、幼稚園、保育所などでは、入学式や入園式が行われ、新しい年度が始まりました。新しい生活を始めた皆さんは、希望と不安が入り交じった心境のことと思います。

昨年5月、新型コロナウイルス感染症により国の緊急事態宣言が全国に拡大され、本市でも市立幼稚園やこども園（教育認定）、小・中学校が休園や休校し、多くの公共施設も休館、利用停止などを行い、感染拡大防止に取り組んでいました。

その後、感染は増減を繰り返して、現在、変異ウイルスと第四波で、都市部を中心に感染者が増加しており、予断を許さない状況が続いています。

そのような中、本市におきましても、先月25日から、65歳以上の人を対象としたワクチンの集団接種を始めました（詳しくは2ページでご案内しています）。国からのワクチン供給量が限定的で、今後の見通しが困難な状況ですが、草津栗東医師会やびわこ薬剤師会のご協

力を得ながら、安全かつ円滑なワクチン接種に取り組んでまいりますので、ご理解をお願いいたします。ワクチン接種予約に当たっては、予約の電話などが殺到し、電話がつかないなど大変ご迷惑をお掛けしていますが、ワクチン供給量が増加してきましたら、予約枠を追加してまいります。

本年度は、令和14年度を目標年次とする第6次草津市総合計画のスタートの年でもあります。我が国では、人口減少や少子高齢化の進行、地球温暖化による自然災害の激甚化、感染症の世界的大流行、社会のデジタル化など、急変する社会情勢への対応が求められています。

本市の人口も、令和12年の147,400人程度を最大に、その後は減少に転じると見込んでいます。第6次草津市総合計画では、将来のビジョンとして、「ひと・まち・ときをつなぐ絆をつむぐふるさと 健康創造都市草津」を掲げています。これからも、行政だけでなく、市民の皆様や地域、団体、民間企業とも連携しながら、みんなが健やかに幸せに暮らせるまち、誰もが健康になれるまちを創ってまいります。

2月定例市議会

2月26日に開会し、市長が提出した37議案を原案どおり可決等しました。また、議員が提出した条例案1件を可決、意見書案1件を可決、4件を否決とし、3月25日に閉会しました。主な議案は次のとおりです。

《市長が提出したもの》

当初予算＝令和3年度草津市一般会計予算など

補正予算＝令和2年度草津市一般会計予算を4億4,344万3千円減額し、690億5,381万1千円にする補正予算など

条例案件＝草津市住民投票条例等の一部を改正する条例案など

一般議案＝第6次草津市総合計画第1期基本計画につき議決を求めることについてなど

人事案件＝草津市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについてなど

《議員が提出したもの》

条例案件＝草津市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例案

意見書＝草津養護学校を含む特別支援学校の教育環境の改善を求める意見書案など

問 総務課（3階） ☎561-2301、FAX561-2483

議事庶務課（3階） ☎561-2413、FAX561-2485

教育長が決まりました

2月定例市議会では、閉会日に、教育長として藤田雅也さん（58歳）を任命することに同意しました。任期は、4月2日から3年間です。

問 教育総務課（6階）

☎561-2425、FAX561-2488



差別のない明るいまちに

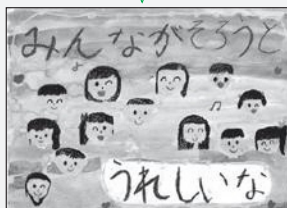
自分の作品が人の心を動かす！

～改めて社会の一員としての“わたし”に気付く～

コラム
COLUMN

問 人権センター（大路二）
☎563-1177、FAX563-7070

休校中、友だちに会えなかった
ので、みんなに会いたいと思っ
ていました。学校が始まり、ク
ラスのみんながそろってうれし
い気持ちになったのでこの絵
にしました。



言葉は一言だけでも他人を傷
つけることができるが、逆にたっ
た一言で人を元気にさせたり、カ
ラダのみんながそろってうれし
い気持ちになったのでこの作品
を作りました。



**わたしが作品で
伝えたいこと**
今年2月、市が募集してい
た人権作品に対して表彰を行
いました。人それぞれの個性
を認め合うことの大切さや互
いを思いやる気持ちなど、人
権の大切さを訴えかける作品
に加え、新型コロナウイルス
感染症の拡大で、会えなく
なった友だちへの思いや、ウ
イルスに感染された人などへ
の嫌がらせ・排除を題材にし
た作品も多く出されました。
作品制作に込めた作者の思
いを添え、一部を紹介します。

わたしたちは、ポスターを
見たら、詩や作文を読んだり
して感じるとともに、コメン
トから作者の思いを知り、そ
の作品により共感する場合も
あります。

**作品が人を勇気づけ、
人に訴えかける！**
表彰式の主催者あいさつで、
受賞者にこのような言葉を伝
えました。
「テレビのニュースでも度々
取り上げられています。新
型コロナウイルス感染症によ
る偏見や差別で苦しんでいる
人たちがたくさんいます。そ
んな中で、皆さんが作った人
権作品は、差別や偏見を受け
ている人たちを勇気づけ、人
権の大切さを多くの人に訴え
かけています。」
後日、市立図書館で人権作
品展を開催しました。作品を
鑑賞した人からは、次のよう
な感想がありました。
● 子どもたちの澄んだ心に胸
を打たれた
● 明るい言葉や絵がたくさん
あって、素敵な気持ちにな
った

● 「差別はおかしい」「人権を
大切に」という思いが心にさ
さった
鑑賞した人が、ポスターや
作文、詩から「心を動かされ
た」ことが分かります。

**「自分の言動が誰かに影響を
与えている」という実感**
普段、人との関わりの中で
生きているわたしたちですが、
「自分が知らないところで、自
分のしたこと、言ったことが
誰かに影響を与えているとい
う実感は薄いのではないで
しょうか。今回のように自分
の作品が誰かに影響を与えて
いるという実感が持てたとき、
作った人に新たなエネルギー
が湧いてくると思います。
その実感は、改めて社会の
一員としての“わたし”に気付
く機会にもなります。差別問
題は社会問題です。学習や体
験を通して、社会と“わたし”
のつながりを実感し、“わた
し”が暮らす社会をより良く
したいとの思いを持つこと
が、差別問題を解決するきつ
かけになるのではないでしょ
うか。

同和問題市民連続講座

所 キラリエ草津（大路二）

対 全て受講できる人

※ 1回のみの受講可

定 各50人（先着順）

他 手話通訳・託児あり（予約要）

申 5月26日（水）まで

申・問 人権センター（大路二）

☎563-1765、FAX563-7070

第1講座 6月11日（金）14:00～15:45		第3講座 6月23日（水）10:00～11:45	
テーマ	なぜ学ぶの？何を学ぶの？ ～若者から見た部落差別～	テーマ	“わたし”の中の『あたりまえ』に ついて考えてみよう！ ～暮らしの中にある差別問題～
講師	吉岡綾さん	講師	中邨満由美さん
第2講座 6月15日（火）10:00～11:45		第4講座 6月29日（火）14:00～15:45	
テーマ	“わたし”とつなげて考えてみよう！ ～現実と向き合う若者の姿とおして～	テーマ	ネット上に表出する差別とオンライン を活用した差別解消の可能性
講師	山崎真由子さん	講師	松村元樹さん